





母屋の原型は江戸時代末期の築造です。当時豪農として、その後醤油醸造業、養蚕業が営まれました。2階は整備がなされましたが、屋根構造に養蚕のなごりを見る事ができます。特に和室の書院障子の木組みなどは、大正時代の建具の実例として貴重なものです。

平成時代になってフランス料理店として大幅な改装を経て、平成12年に瑞穂町が取得・整備をしたのが現在の耕心館です。江戸時代末期から現在に至るまで、人々の営みに伴い手を加えられた母屋は、和洋折衷様式の風情ある独特な建築美を生み出しました。

耕 2025.1

くつろぎの間：庭園を望みながらお茶や食事を楽しめます。



2F 多目的大広間：コンサートや展覧会を開催。貸室でご利用頂けます。



和・洋室：食事会・集い・会議など、貸室でご利用頂けます。



1F 展示ギャラリー・エントランス：美術・工芸の展覧会を開催。貸室でご利用頂けます。

